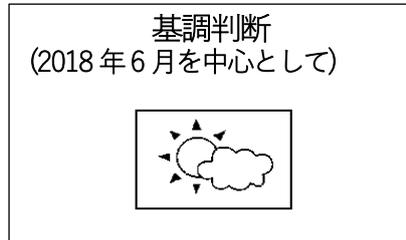


●最近の経済動向

今月の概要

県内景気は緩やかに回復している。



個人消費：持ち直し。6月の百貨店・スーパー販売（店舗調整前）は、月後半の気温上昇から飲・食料品等の動きが良く、3か月ぶりに前年比1.9%増加。コンビニ販売は、同2.8%増と堅調に推移。専門量販店販売は、ホームセンターは減少したが、ドラッグストアが堅調を継続し、家電大型専門店が2か月ぶりに増加し、全体で同3.8%増。乗用車販売（軽含む）は、軽乗用車が引き続き増加したものの、普通車、小型車が減少し、3か月ぶりに同5.8%減少。

設備投資：増加基調。6月の建築着工床面積（非居住用）は、5か月ぶりに前年比49.1%減少したが、6月までの年度累計では前年同期比27.9%増加。6月単月を用途別にみると、工場及び作業場が増加したが、事務所、店舗、倉庫が減少した。

住宅建設：下げ止まり。6月の住宅着工戸数は前年比4.1%増加。貸家は減少したものの、持家、マンション、分譲戸建てが増加した。

公共工事：持ち直しの動き。6月の公共工事請負額は前年比13.7%減少したが、6月までの年度累計では前年同期比4.7%増加。6月単月でみると、国、独立行政法人等、県市町村などがいずれも減少。

生産活動：一進一退。5月の生産指数（季調済）は、前月比2.6%上昇。生産用機械（半導体製造装置）、輸送用機械（乗用車）などが低下したが、食料品（炭酸飲料）、化学（医薬品）、業務用機械（医療用機械器具）などが上昇した。

雇用情勢：着実に改善。6月の新規求人倍率（季調済）、有効求人倍率（同）はともに前月比上昇。完全失業率（南関東）は前月比上昇したが、低水準。

企業倒産：件数、金額とも増加。件数、負債総額ともに前月比増加。